



# NPOきらきら発電・市民共同発電所

## 10年を振り返って

2025/5/6 理事長 水戸部秀利

2015年4月1日にNPOきらきら発電・市民共同発電所が認可されて、10年になりました。

会員、準会員、地域みなさんの協力で何とか折り返し点までたどり着きました。

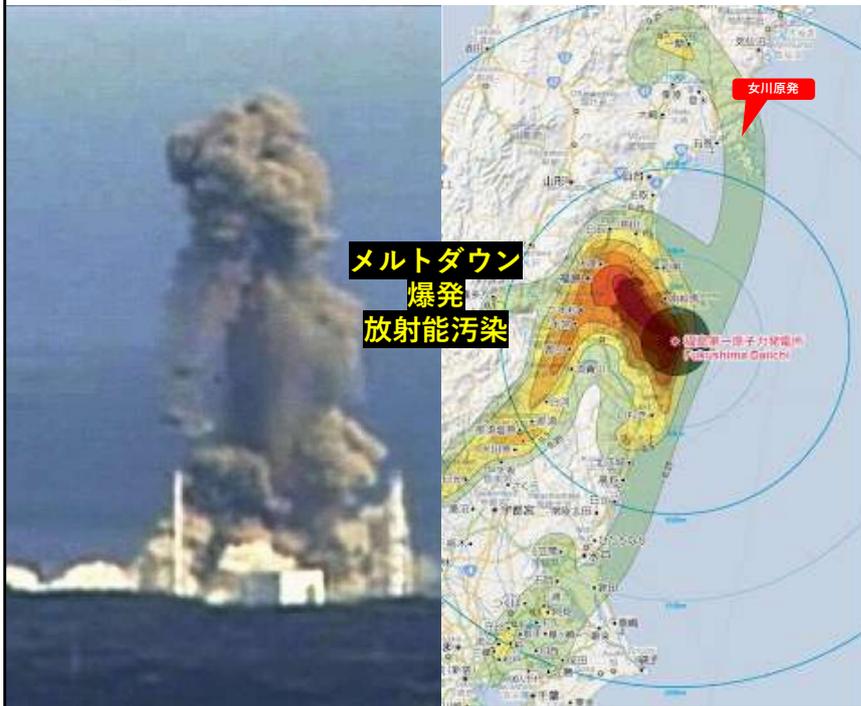
当初は、発電所2か所くらいが、精一杯かと思っていましたが、10号機まで展開できました。

みなさんからお預かりした基金も、クリーンなエネルギーを生産し、役割を終え、返済も予定通り進んでいます。

今日は、10年の概略を振り返ってみました。



きっかけは、3.11の衝撃  
長期停電そして原発事故  
社会のエネルギー危機



NPO発足のきっかけは、3.11の衝撃です。  
東北電力管内は長期停電し、仙台港の石油基地は1週間に渡って炎上し、ガソリンや灯油を求めて長蛇の列ができました。

そして、原発の爆発・メルトダウンです。

あとから知ったことですが、女川原発は、津波がもう1m高ければ同じ過酷事故になっていたかもしれないということです。

この福島のパollution区域を、北に100km平行移動すれば、私たち宮城県民も故郷を追われることになったということです。

このように、社会生活を支えるエネルギーインフラの問題を、3.11は私たちに突きつけました。



## 原発NO！ から「エネルギーを市民の手で」へ



震災翌年の2012年から、宮城でも原発NOのアクションが起きました。私たちも参加しました。

原発NOの声をあげると同時に、それに変わるエネルギーを市民の手で生み出せないかを考えました。

その時、保険医協会企画でこの本の著者、和田武さんの講演がありました。この講演会に、仕掛け人となる高山さん、事務局長になる広幡さんと、旗振り役になる私が参加していました。この3人が、発起人となり宮城でも市民発電やれないかと相談したのが始まりです。

しかもその頃、民主党政権下で再エネ普及のための固定価格買い取り制度が成立し、太陽光発電という市民の手に届くような発電方法が普及していました。

この三つの条件と出逢いが重なって、市民共同発電が立ち上がりました。



## NPOの設立 と 発電候補地探し と 資金呼びかけ

2014/11/30 広幡宅で設立総会



- ・2014年9～11月  
発起人・NPO準備会数回
- ・2014年11月30日  
NPO法人「きらきら発電・市民共同発電所」設立総会
- ・2014年12月1日  
仙台市に法人申請

以後準備会として、会員、基金、寄付金の募集と発電所候補地の選定作業

- ・2015年1月26日  
東北経済産業局が2カ所の発電所計画を認可
- ・2015年3月26日  
仙台市からNPO申請書類が交付
- ・2015年4月1日  
法務局に申請し、NPO正式発足、同時に県への補助金申請
- ・2015年7月28日  
県の補助金が認可
- ・2015年8月着工  
★9月6日第1号機（井土浜）開所へ

2014年11月30日 賛同する仲間10人が集まり、設立総会を、広幡事務局長の自宅で開催しました。

その後、それぞれ知り合いに声をかけて会員を募りながら、発電所の具体的な候補地探し、建設のための資金協力を訴えました。

発起人が民医連の職員であったこともあり、会員は民医連関係者が多いのですが、脱原発を求める環境活動家や学者、研究者など多様な構成になりました。

届け出などいくつかの手続きをして、2015年4月1日にNPOとして認可され、会員55名、基金約3000万円でスタートすることになりました。

発電所の候補地も、それぞれのネットワークが活かされ、浮上しました。



## 私たちのめざすもの



**「きらきら発電」  
の命名は  
広幡事務局長の  
お孫さん**

原発のない社会

エネルギー  
争奪のない  
平和な社会

地球温暖化  
対策など  
環境保全に  
資する

私たちの  
めざすもの

災害時の  
予備電源の確保

エネルギーの  
地産地消

5

私たちNPOの理念は、5つです。

出発点は、原発のない社会です。

そして、温暖化・気候危機の原因である化石燃料に頼らない社会。

太陽や水や風など身近なエネルギーを利用する地産地消の社会。

それは、災害時のレジリエンスもある社会です。

最後に、エネルギー争奪のない平和な社会です。壮大な目標ですが、戦争の歴史を振り返ると、その背景や要因に資源やエネルギーの奪い合いがありました。他からエネルギーを奪うような構造をなくしたいという願いです。

なお、NPOの「きらきら発電」の名前は、広幡事務局長のお孫さんの命名です。



# 第1号機 若林区井土浜発電所(2015/9/5 開所)

50KW (76KW過積載) 32円/KW・20年FIT売電



津波被災地

## 津波被災の仙台・若林区井土地区

### 市民出資で太陽光発電

西日本最大規模の津波被害を受けた仙台市若林区井土地区で6日、市民らが出資した小規模太陽光発電所の開所式があった。運営主体はNPO法人「もろきら発電」。市民同好会館(旧市庁舎)は「再生エネルギーの普及を通じ、被災地の復興を支援したい」と意欲を示した。

NPO法人「もろきら」は、100名が参加した市民出資の太陽光発電所を、1000坪の空き地に建設し、今年9月に開所式を行った。出力は50キロワットで、1年間の総発電量は約200万キロワット時を想定している。発電した電力は東北電力に売電し、収入の一部は、同会館の改修や、被災者支援に充てられる。開所式には、市長らも参加した。

市民出資によって整備された太陽光発電所

第1号機は、井土浜発電所です。

井土浜は、津波被害で多くの家屋が流され、仙台市は一度危険区域に指定しました。多くの住民は、居住をあきらめ内陸に新居を求めました。しかし、防潮堤とかさ上げ道路建設が具体化されると、仙台市は一転して居住可能に変更しました。しかし、戻る世帯は1割で、広大な荒れ地が残され、地主さんたちも頭を抱えていました。

ちょうどその頃、私たちNPOが「20年間借りられる市民発電のため空き地」を探しているという話が、地域の議員さんや地主さんの耳に入り、そこにジョイントが生まれました。

この井土浜は、理事長が当時所長をしていた若林クリニックから車で5分くらいの地域で診療圏でもありました。

この写真は、開所式の集合写真です。

このとき、河北新報も取材に来てくれ、このように「脱原発」の市民発電所として紹介してくれました。



## 第2号機 太白区柳生もりの子保育園発(2015/9/28 開所)

30KW 32円/KW・20年FIT売電



⇒ 2020/7/15  
宮城厚生福祉会  
に贈与

7

これは同年に設置できた2号機です。太白区の柳生もりの子保育園の屋根です。仙台市の委託を受けて、宮城厚生福祉会が管理運営している保育園です。

この写真は、私たちの求める未来を予感させる写真です。

パネルに日が差しクリーンなエネルギーが生み出され、親と園児が運動会で楽しんでいる。

このような、光景があちこちに見られたらよいと思います。

なお、この発電所は、2020年に、宮城厚生福祉会に「未来への贈り物」として寄贈しました。



## 第3号機 塩釜市あゆみ保育園 (2016/11/16 開所)

2016年11月16日  
第3号機の開所式  
(塩釜あゆみ保育園)

パネルの一部  
低電圧16KW 24円/KW・20年FIT売電



保育所屋根

あゆみ保育園

8

3号機は2016年で、16KWと小規模でしたが、塩釜にあるあゆみ保育園の屋根に取り付けることができました。

保育所や幼稚園、小中学校、公民館や集会所、病院や施設など地域の半ば公的な建物には、太陽光パネルと蓄電池が取り付けられているのが、当たり前の社会にしていきたいと思えます。



# 第4号機 亘理町長瀬発 (2018/9/4 開所)

50KW (90KW過積載) 21円/KW・20年FIT売電



## 脱原発へ4ヵ所目太陽光

仙台のNPO、宮城・亘理に建設



### 地元住民らから出資募る 農地跡にパネル、発電出力50超

長瀬地区の農地だった約1600平方メートルに太陽光パネル約300枚を設置し、出力は約50キロワット。亘理町や若菜市を中心に約60人が無条件で出資に応じ、総投資額は約100万円をこえた。

NPO法人は2015年9月、津波被災した仙台市若林区牛田地区で、最初の市民出資による太陽光発電所を創設。太白町牛田と塩釜市にある保育園の屋根にも「災害時の予備電源」を兼ねた太陽光パネルを設置している。長瀬地区を合わせた東北電力への総発電出力は150キロワット。

出資金はこれまで約10人から約500万円集まっており、事務局は「総出力は小さいが、脱原発に賛同する声は増え続けている」と強調する。本年度は多賀城市にも発電所の整備を目標とする。

今月8日、長瀬地区で行われた開所式には住民約30人が出席。水戸部秀利理事長(69)は「平和で環境に優しい再生エネルギーの手始めである。市民出資で一歩ずつ広めたい」と語った。

長瀬地区は津波を乗り越える津波が押し寄せた。太陽光発電所の建設地を確保した丸之内さん(70)も目を失い、現在は仙台市に住む。丸之内さんは「地震で暖房が止まる再生エネルギーで生活を効活用してほしい、ありがたい」と話した。

4号機は、2018年の亘理町長瀬地区です。

ここは、津波被害を受けた地区です。住んでいた地主さんが使っていた畑を、NPOの発電のためにと、NPOに譲ってくれました。

建設資金は、県南で脱原発運動を続けている方々のネットワークを通じて集めることができました。

この発電所の開所式にも、河北新報が取材に来て、「脱原発」を明記して記事にしてくれました。

## 第5号機 多賀城市伝上山発電所 (2019/3/31 開所)

50KW (70KW過積載) 27円/KW・20年FIT売電



5号機は、2019年、多賀城にある坂病院の駐車場です。

駐車場に屋根を着けて、その屋根を太陽光パネルにして発電するという仕組みです。通常の野立てよりは、経費はかかりますが、敷地の有効利用になります。

この建設資金も、地域の病院関係者の協力で集めることができました。



第5.5号機 山形県最上郡金山町有屋(2019/7/1 開所)  
ソーラーシェアリング 20KW 19円/KW・20年FIT



真冬のソーラーパネル



里山便



NPOかねやま電雪



この発電所はNPOきらきら発電のものではなく、水戸部理事長のふるさと山形県金山町で、NPOかねやま電雪が実証実験的に設置したソーラーシェアリング形式の発電所です。

この設置の資金は、NPOきらきら発電からの支援で賄われました。

営農と発電を併用する方式で、トラクターが入れるような高さの架台を使うので、2mくらいの豪雪地帯でもパネルが顔を出し発電が可能です。

なお、ここで作られた作物や周辺の山菜、近くの養殖場のイワナなどをセットにして、資金協力いただいたNPOの皆さんに里山便として返礼活動もしています。



## 第6号機 宮城野区蒲生発電所 (2020/11/28 開所)

10KW 21円/KW・10年FIT売電+自家消費



洞場屋根

12

蒲生の6号機も思い出深い発電所です。

ここは住まいではなく、津波で亡くなった息子さん二人の弔いの場所で、その二人の名前をとって、「舟要洞場」と呼んでいます。息子さんを亡くした笹谷さんは、仙台市から、蒲生からの立ち退きを求められましたが、頑として拒否しここに洞場を建てました。このように観音様もあります。

この場所から北西約500mのところに、「悪名高い石炭火力・仙台パワーステーション」があります。

笹谷さんもきらきらの会員となり、息子さんの供養のために、そして、石炭火力なんかではないクリーンなエネルギーを作りたいということで発電所を計画しました。

このような訴えに、蒲生を守る会など住民の方々からも300万を超える寄付が寄せられ、全額寄付で10kwの発電所が建設できました。



### 第7号機 若林区荒井 (2022/3/22開所)4KW屋根借り方式



### 自宅屋根借り方式

### 第10号機 青葉区台原 (2024/12/6開所)4KW屋根借り方式 多々良邸

### 第8号機 若林区荒井 (2022/10/27開所)4KW屋根借り方式



### 第9号機 泉区长命ヶ丘 (2024/4/25開所)4KW屋根借り方式 岩間邸

2022年から固定価格買い取り制度（FIT）が変わり、10KW以下の小規模な個人住宅向けの発電（10年）しかできなくなりました。それに対応し、屋根借り方式による発電を事業に取り入れました。

個人の屋根を借りて、太陽光発電の設置費はNPOが負担し、その家の使用電力を太陽光で賄い、余った分は売電し、その収入はNPOに入る仕組みです。

屋根の貸主は、設置費負担なく電気代も節約となり、環境にも優しい生活ができるます。さらに、売電が終わる10年後には、発電装置は屋根の貸主の所有にかわります。

4～5KWの小規模な発電ですが、この方式で希望者を募り、7号機、8号機、9号機、10号機と建設してきました。



第10号機 青葉区台原 多々良邸  
(20(24/12/6 開所) 4KW屋根借り方式



これが10号機の開所式の写真です。

宮城の脱原発運動の先頭に立つ多々良さんの自宅の屋根を借りての発電所です。

開所は昨年(2023)の12月6日で、ちょうど前日に女川原発が再稼働したところで、それへの抗議も含めて、記念すべき開所式となりました。



# 再エネ研修 旅行企画も

2015年：福島  
2016年：秋田、山形  
2017年：岩手  
2018年：宮城沿岸  
2019年：福島、山形  
(コロナで中断)



私たちNPOは、発電事業の他に、収益の一部を活用しながら東北各地の同じように再エネ事業に取り組む事業所の視察研修旅行も企画してきました。

2015年には、福島の土湯温泉の小水力発電、会津の太陽光発電、郡山の風力発電などを見学しました。

2016年には、秋田や庄内の風力発電、最上町のバイオマス熱利用、東根市のソーラーシェアリングなどを見学しました。

2017年には、岩手の紫波町やくずまき高原のバイオマス利用、松川地熱発電所などを見学しました。

2018年には、気仙沼の風力やバイオマス発電、女川の市民共同発電所、東松島市のバイオマスプラントを見学しました。

2019年には、福島原発事故で被害を受けた飯舘村に訪問し太陽光発電を見学し、山形県南部の飯豊町の雪室、野川の小水力発電所などを見学しました。

2020年以降は、コロナで中断を余儀なくされましたが、東北各地で再エネ普及拡充のために頑張っている仲間がいることを知り励まされました。

## イベントや学習会企画

2016年 メモリアルアクション

2017年 東北アースディ

2020年 影法師コンサート

...



脱原発や環境保護のため、県内の皆さんと連携しながら様々な企画や運動も行ってきました。

例えば、2016年の3月11日には、写真のようなチラシを県内だけでなく、東北地方に配り、「3.11メモリアルアクション」を行いました。

3.11の夜、8時から9時まで明かりやテレビを消して、ろうそくなどの灯りのもとで「原発やエネルギー問題」を家族で語ろうという呼びかけです。

この時間だけ東北電力の電力消費をストンと落として、東北電力に「原発NO」のメッセージを伝えようというアクションです。

2017年には、東北アースディに参加出店しました。

2020年には、メディアテークを会場に、山形の長井市からおじさんフォークグループ「影法師」をよんで、コンサートを開きました。

彼らの「花は咲けども」は、反原発の隠れたヒットソングだと思います。



## 市民電力や地域と連携

2016年 宮城集会➡2019年 連絡会結成

2023年 井土プチマルシェにブース

2024年 女川夏祭り参加(模擬原子炉)



宮城県内の、同じような市民電力団体との連携や、地域での企画にも積極的に関わってきました。

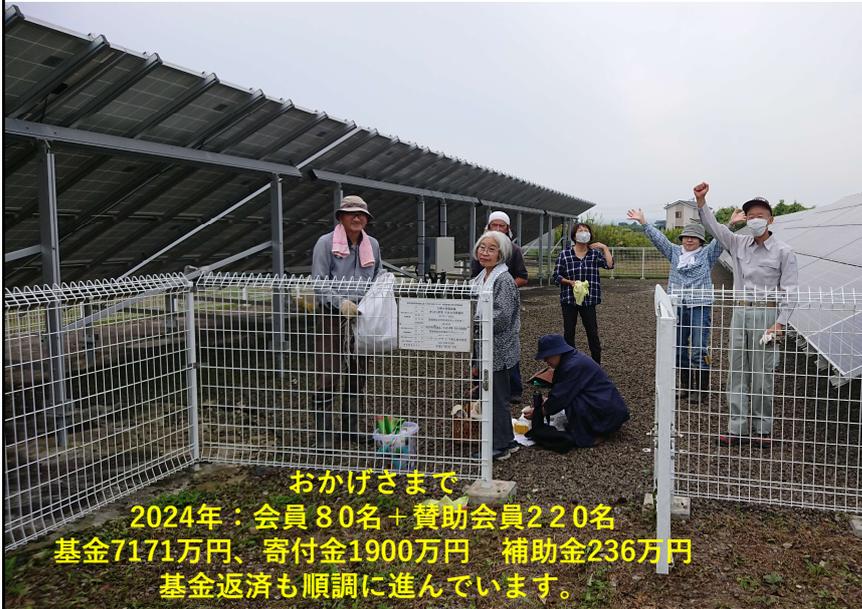
2016年には、県内の自然エネルギーで社会を変えようというスローガンで、集会を開催しました。その流れで、2019年には「みやぎ地域・市民電力連絡会」が4団体で結成されました。その後、例会と学習会を重ねてきました。

第1号機を建設した井土浜は、仙台市の中で復旧・復興から取り残された地域です。住民は、にぎわいの再生を求めて、プチマルシェなどの企画を行っています。きらきらもそこにブースを出して交流を深めています。

また去年は、女川夏祭りにブースを出して、手製の模擬原発を持ち込んで、原発を皮肉った企画も試みました。



大変ですが、発電所の維持管理も頑張ってきました。草取りもリ克雷ーション？



おかげさまで  
2024年：会員80名＋賛助会員220名  
基金7171万円、寄付金1900万円 補助金236万円  
基金返済も順調に進んでいます。

昨年、西仙台でメガソーラ火災が発生し、太陽光発電施設の管理も重要視されています。

私たちNPOは、会員が手弁当でそのメンテナンスにあたっています。  
年3～4回の草取りは大事な仕事です。  
高齢の会員の多い中、キツイ作業ですが、交流の場にもなっています。

おかげさまで  
2024年までの10年間で、会員80名＋賛助会員220名となりました。

基金7171万円、寄付金1900万円 補助金236万円 と資金9000万を超える事業で、年間売電収益も900万前後で推移しています。  
そして、みなさんから預かった基金返済も順調に進んでいます。

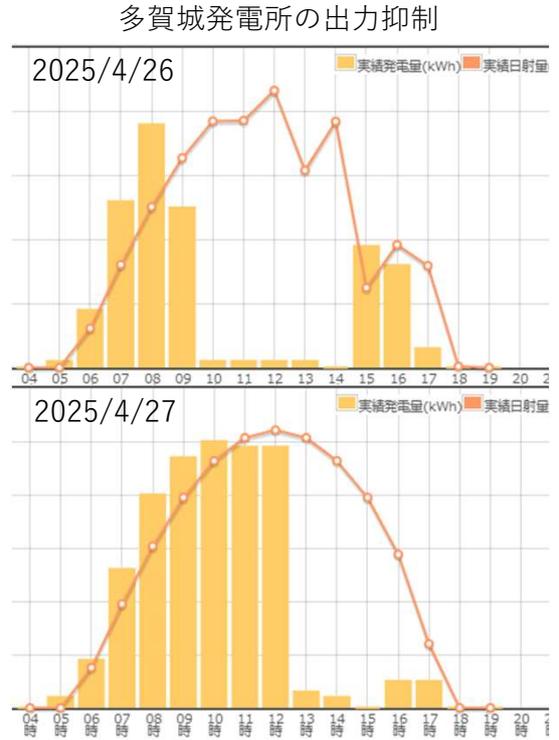
正直言って、10年前このような事業規模になるとはまったく予想していませんでした。

エネルギー転換を求める社会の動きと、みなさんの協力が、この到達を生み出したのだと思います。



## 心配なのは出力抑制 特に 女川原発再稼働の影響

|    |              | 変動再エネ出力制御 年度比較 (万KWh) |              | 2024年12月～80万KWの原発商用運転 |              |
|----|--------------|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|
|    |              | 2022年                 | 2023年        | 2024年                 | 2025年        |
| 3月 |              |                       | 3月11日(土) 57  | 3月16日(土) 35           | 3月1日(土) 54   |
|    |              |                       | 3月19日(日) 139 | 3月30日(土) 240          | 3月14日(金) 66  |
|    |              |                       | 3月20日(月) 96  | 3月31日(日) 240          | 3月22日(土) 155 |
|    |              |                       | 3月21日(火) 52  |                       | 3月23日(日) 346 |
|    |              |                       |              |                       | 3月25日(火) 53  |
|    |              |                       |              |                       | 3月30日(日) 89  |
|    |              |                       | 344          | 515                   | 763          |
| 4月 | 4月10日(日) 11  | 4月1日(土) 201           | 4月1日(月) 224  | 4月5日(土) 224           |              |
|    | 4月17日(日) 132 | 4月2日(日) 53            | 4月2日(火) 113  | 4月6日(日) 31            |              |
|    | 4月23日(土) 10  | 4月9日(日) 179           | 4月5日(金) 50   | 4月9日(水) 95            |              |
|    | 4月24日(日) 22  | 4月22日(土) 247          | 4月7日(日) 127  | 4月12日(土) 26           |              |
|    | 4月30日(土) 128 |                       | 4月10日(水) 240 | 4月16日(水) 97           |              |
|    |              |                       | 4月11日(木) 154 | 4月17日(木) 352          |              |
|    |              |                       | 4月13日(土) 98  | 4月18日(金) 21           |              |
|    |              |                       | 4月14日(日) 85  | 4月19日(土) 285          |              |
|    |              |                       | 4月20日(土) 80  | 4月20日(日) 87           |              |
|    |              |                       | 4月26日(金) 47  | 4月21日(月) 262          |              |
|    |              |                       | 4月28日(日) 284 | 4月22日(火) 270          |              |
|    |              |                       | 4月29日(月) 114 | 4月24日(木) 125          |              |
|    |              |                       |              | 4月25日(金) 26           |              |
|    |              |                       |              | 4月26日(土) 443          |              |
|    |              |                       |              | 4月27日(日) 496          |              |
|    |              |                       |              | 4月29日(火) 202          |              |
|    |              |                       |              | 4月30日(水) 266          |              |
|    |              | 303                   | 680          | 1616                  | 3308         |



最後に、この事業に立ちふさがる暗雲です。

それは、日本政府の原発回帰・増強、化石燃料温存のエネルギー政策です。

事業収益に直結するのが、変動再エネへの出力抑制です。

2022年に始まった東北電力管内の出力制御は年々増加し、特に昨年12月から女川原発が再稼働し、80万KWがベースロード電源に加わり、当然その分変動再エネが弾き飛ばされます。

このように、3月・4月の出力抑制は頻度も量も明らかに増加しました。

「原料タダのCO2を出さないクリーンなエネルギーを捨てて、ダークで危険で高価なエネルギーに依存する」誰が見ても理不尽な政策です。

NPOきらきら発電は、巨大な原発や火力発電からみれば、吹けば飛ぶような発電事業ですが、正義と未来は私たちの方にあると思っています。



# NPOきらきら発電・市民共同発電所

引き続き、ご支援ご協力お願いします。

役員・事務局の高齢化は避けられません。

この事業に参画してくれる中堅・若手の紹介もお願いします。



後半の10年、引き続き、みなさんのご協力ご支援お願いします。

ただし、役員・事務局の高齢化は避けられません。

この事業に参画してくれる中堅・若手の紹介もお願いします。